

平成30年度 第5回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 平成31年3月19日（火） 午後2時30分～午後5時15分

【場 所】 豊田市役所 南庁舎5階 南53会議室

【出席者】 〈委員〉

尾碕 眞 [愛知学院大学商学部 客員教授]
松永 郁也 [豊田商工会議所 常議員]
大橋 宏 [豊田信用金庫 部長 中小企業診断士]
河原 郁子 [とよた下まちおかみさん会 平成30年度会長]
杉田 雅子 [株式会社 杉田組 ブルーベリー事業部取締役]
新田 都子 [高岡地域消費者グループ代表]
元岡 征志 [シー・プロジェクト代表 中小企業診断士／社会福祉士]
脇田 弘久 [愛知学院大学商学部 教授]

〈事務局〉

早川 正文 [豊田市産業部商工振興室長]
清水 章 [豊田市産業部商業観光課課長]
疋田 一男 [豊田市産業部商業観光課副課長]
鈴木 啓介 [豊田市産業部商業観光課副主幹]
吉野 佑美 [豊田市産業部商業観光課担当長]
山崎 雄 [豊田市産業部商業観光課主査]

【傍聴者】 なし

【次 第】

開 会

- 1 商工振興室長あいさつ
- 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
- 3 委員長あいさつ
- 4 議事
- 5 その他

【会議録（要約）】

4 議事

（1）商店街等活性化計画の策定について

- ア 豊田市駅前商業協同組合
- イ 桜町本通り商店街振興組合
- ウ 旭商工会

（2）商店街等活性化計画の一部変更について

- ア 足助中央商店街協同組合

（1）商店街等活性化計画の策定について

- ア 豊田市駅前商業協同組合

委員

ニーズを把握するための仕掛けはどのようなものか。

駅前商業協同組合

プレミアムチケットなど事業ごとにアンケート等で調査している。

委員

豚コレラで風評被害を受けた畜産農家もいるため、特産品等を扱った事業を行ってほしい。

駅前商業協同組合

検討する。

委員

KiTARA やコモ・スクエアは豊田の顔であるため、期待感が大きい。

委員

買い物客が商店街に入りやすい仕掛けを作ってほしい。

駅前商業協同組合

了解した。

委員

ラグビーワールドカップ連携イベント等の情報発信はどのようにするのか。
以前行った駅前バルがうまくいかなかった理由を教えてほしい。

駅前商業協同組合

SNS やチラシの配布等によって情報発信を行っていく。
駅前バルは、特別メニューの作成による負担や開催期間が短かったことが理由でうまくいかなかったと考えている。

委員

スタジアム等の集客イベントと連携して、商店街を利用する客が増えた成功例を参考にしてほしい。

駅前商業協同組合

了解した。

委員

ターゲットを明確にしなければ、人は集まらない。これは、ラグビーワールドカップでも同じことである。

委員

コモ・スクエア、KITARA などの商業施設が整備され、人が集まる要素はたくさんある。どの年代の客層をターゲットにするのか分析し、事業を実施していただきたい。

イ 桜町本通り商店街振興組合

委員

PR 事業の SNS はあくまで方法の 1 つなので、効果的な PR を行うためレクチャー等を受けるのはどうか。

桜町本通り商店街

SNS の件、検討する。

委員

空き店舗対策の一環として、個店同士の情報共有等の連携をお願いしたい。

桜町本通り商店街

了解した。

委員

PR 事業について、ソーシャルメディアを利用するのはどうか。

委員

STREET & PARK MARKET は、賑わい創出の起爆剤となる。ぜひ商店街事業との連携をお願いしたい。

桜町本通り商店街

商店街としてもその認識でいる。

委員

客層の若返りを掲げているが、高齢者はどうなるのか。

桜町本通り商店街

高齢者に加え、新たに若い客層を獲得することで、幅広い層に愛される商店街を目指していく。

ウ 旭商工会

委員

I ターン移住者に事業意欲があるのか。

旭商工会

創業セミナーに4名の参加があり、2名に創業意欲があった。うち1名は実際に創業に向けて準備中。

委員

空き家情報バンクはどのような状況か。

旭商工会

移住希望者に比べ登録物件が少なく、物件が登録されると借り手が見つかる状況だと聞いている。

委員

ロードバイク等の観光客数は年間を通じて、曜日ごとに波はあるのか。

旭商工会

波はあるが、特にロードバイカー等の観光客は増えている。2019年度にはアンケートを実施予定。

委員

旭地区は比較的移住対策が成功しているが、店舗兼住宅で創業し、かつ移住してもらうのは実際難しい。商工会議所等の創業セミナーと連携して情報発信をするのはどうか。また空き店舗の斡旋業者を利用するのはどうか。

委員

後継者のいない事業者はどれほどいるのか。

旭商工会

半数近くになる。

委員

廃業する時にスムーズに次の創業者に店舗を引き渡せるような仕組みづくりをすべき。

旭商工会

そのことについては、検討しているところである。

委員

過疎地域で創業してもそれだけでは生活していけない人もいる。ネット販売など、住む地域に関係なくできる仕事が必要となる。

委員

人が集まる地域にするには、行って楽しい場所であるべき。

委員

旭地区の創業者は一時的でなく長期的に事業を続けているか。

旭商工会

まだ創業まで至っている事例が少ないので、これから検証する。

委員

この事業は比較的若い人がターゲットなのか。

旭商工会

その通り。

委員

地元密着型ではなく、観光客向けの店を誘致する目的が大きいのか。

旭商工会

その通り。以前とったアンケートでは、店舗等が少ないため商店街に滞在できる時間が短いことが最も問題という結果だった。

委員

観光客のニーズ把握はどのようにしているか。

旭商工会

今後、2019年度にロードバイカー向けにアンケートを実施し、2022年度は、風鈴まつりの来訪者に向けてアンケートを実施予定である。

委員

観光客向けの店舗を誘致したいという話だが、不足業種で挙げた生鮮食品小売業とは実態があわない。

(2) 商店街等活性化計画の一部変更について

ア 足助中央商店街協同組合

委員

駐車場の稼働率はどれくらいか。

足助中央商店街

イベント時期は満車。

紅葉時期より中馬のおひなさんの時期の方が満車の割合が多い。

駐車台数を減らしても、出入口を入りやすくすれば、利用者が増えたという事例も聞いたことがある。

委員

紅葉の時期は満車ではないのか。

足助中央商店街

満車の日もあるが、毎日ではない。

委員

事業費として借入を予定されているが、返済計画の見通しは立っているか。

足助中央商店街

商店街の監事に金融機関が入っており、財務状況は確認してもらっており、問題ない。